園だより

2026・10月号

くすのき保育園
Eメール　kusunoki_mori@feel.ocn.ne.jp
ホームページ　https://minnanomori.jp/hoiku/kusunoki/

くすのきまつりが行われました



今年も9月中旬にくすのきまつりが開催されました。数日前から園内にはちょう組さんが練習する太鼓の音が響き渡り、午睡明け盆踊りをみんなで楽しんだり、廊下に提灯が飾られたりと、おまつりモードに。前日には「あしたはおまつりだよね～」という子どもたちの会話が廊下で聞かれ、楽しみにしている雰囲気が感じられました。

幼児クラスで披露したおみこしは各チーム（異年齢）でどのような形にするのか計画段階から完成するまで様々な話し合いをします。みんなの願いを設計図として絵に描き、意見を出しながらもさなぎ組さんやあおむし組さんの話を聞くちょう組さん、これを作りたいという思いを発信し、ちょう組さんに手伝ってもらいながら完成を目指すさなぎ組さん、作ることに楽しさを見出し、絵の具あそびを全身で楽しみながら作っていくあおむし組さん。

その中で自分の思いと仲間の思いで揺れる姿も見られました。おみこしの中に人が入って太鼓を叩きたいという思いから、どうやったらそれが実現できるのかみんなで話し合いました。おみこしに入るとつぶれてしまうのでは…、太鼓は手作りしたものを入れたらいいのでは…ちょう組さんが本物の叩いたらいいのでは…、でもあおむしさんとさなぎさんも叩きたい…色々な意見が出る中で、実際どうするか話し合いを重ね、黄色（小さい）の太鼓をたたく子と自分で作った太鼓を叩く子、その両方あってもいいということでみんなが納得。みこしに太鼓を入れたいと伝えた子の思いは、段ボールで太鼓を作って乗せることで叶えられました。

おみこし作りはみんなで作って当日楽しむことだけが目的ではありません。どんな形にしようか、飾りはどうしようか、チーム活動を始めて最初の大きな話し合いの場となります。一人ひとりの思いがあるのでみんなが納得して作り上げることは簡単なことではありません。どんな思いも出していい、仲間が受け止めてくれる、そして一緒に考えてくれる、話し合いを通してどの子の思いも尊重される、そんな場であることを子どもたち自身が実感できる大事な活動です。それぞれのチームが活動を通して今後どんな仲間集団になっていくのか楽しみですね。



今年度は天候の関係で乳児の集合時間がいつもと違う状況ではありましたが、実行委員の方がそれぞれの役割の中で力を発揮して下さり、楽しいくすのきまつりになりました。そして保護者と職員による太鼓でも迫力のある太鼓で盛り上げてくれました。ありがとうございました。

カスタマーハラスメント基本方針の公表について

厚生労働省は、改正労働施策総合推進法に基づき、2026年（令和８年）10月１日からカスタマーハラスメント対策をすべての事業主に義務化しました。義務化にあたり、当法人のHPにて基本方針を作成し、公表しました。右記QRコードから
「みんなの森福祉HP」
→「情報公開資料」
→「ハラスメント基本方針」
→「カスハラ基本方針（PDF）」をご覧ください。